



丹後降山の
こんぴらさん

今は昔のこんぴらさん

大正時代末頃の山上拝殿の写真が遺っています。昭和二年の北丹後地震直前の様子がよく解ります。

瓦屋根で御堂のような造りは江戸時代の神仏混淆の影響が色濃く表れています。拝殿から石段まで立派な回廊が延びて、石畳だけが敷かれている現在とは全く違う景観が広がっていたのです。

回廊の手前にある燈籠は、当社ご鎮座から十三年後の文政七年(八二四)ご創建時の七代藩主京極高備(たかまさ)公と次男高聰(たかとし)公の名前で奉献されたもので、現在はご本殿両脇の内庭に据えられています。

拝殿の右奥に見えるのは佐々木社八坂社で、峯山藩邸と家中町の表門前にあったものが、峯山小学校地造成のため明治九年(八七六)にこの場所に遷されました。佐々木社は佐々木源氏京極家の祖先神ですのでご本殿よりさらに奥への遷座が適ったのかも知れません。



出展品

- ・パッチワーク
- ・とんぼ玉
- ・ドライフラワー
- ・陶製品、木工品
- ・ペット用品
- ・スラークラフト
- ・カバン・ポーチ
- ・手づくり工房
- ・木のおもちゃ
- ・着物リメイク洋服
- ・ボタン
- ・樹脂人形
- ・アクセサリー
- ・北欧生地布小物
- ・こんにやくたこ焼き
- ・野菜
- ・お餅、おこわ
- ・きのこ汁
- ・自家焙煎珈琲
- ・焼きたてパン

※ 出展内容は毎月変わります

特別企画

手づくり体験

- クラフト教室
- 手織織教室
- ビーズアクセサリー教室
- グラスアート教室
- 段ボールロボット教室

などの企画を毎月に行います

みんなで「こま猫」をつくらう! 絵付け体験



癒やし系

- 手相占い
- オリジナルパワーストーン
- クレイセラピー教室
- カラーセラピー

1day cafe

神社の屋内でちょっとしたお食事とお飲物をどうぞ

7月15日
8月19日は
夕涼み市
16:00~20:00頃

情報チェックは...
www.konte1.com

出展者募集中!!

雨天時には屋内開催もあります

わおくんびり
ゆうすつくり。
手づくり市は、みんなで作る市です。

第3日曜日
10:00
~15:00頃

- 7月15日
- 8月19日
- 9月16日
- 10月21日
- 11月18日
- 12月16日

丹後こども論語塾
論語に楽しく親しんでいただく教室です。親子でのご参加お待ちしております。

日時 8月5日(日)
午前9時30分~午前11時30分
講師 青木順子(あおきよりこ)先生
参加料 子ども三〇〇円 大人五〇〇円

七月九日宵宮祭
七月十日夏季大祭
七月九日午後八時
金刀比羅神社夏季大祭
峰山花火大会
主催 金刀比羅神社夏季大祭
花火実行委員会

雨天の場合は、7月29日の水無月祭で実施します。

七月二十九日
水無月祭
「茅の輪くぐり」二十八日より
「人形」受付 祓所参拝
午後六時より九時まで
「夜の市」開催
水無月会奉仕

厳肅で清楚な
結婚式 御祈禱
金刀比羅神社
宮司 脇 阪 卓 爾
〒627-0033 京丹後市峰山町泉二二六五二
電話 〇七七-一六二〇三三五
FAX 〇七七-一六二一五九九三
mail info@konpirasan.com
http://www.konpirasan.com



初穂料 各500円
好評お授け中

御神輿の沿革

昨年十月の二百年記念例祭に百二十名もの輿丁が奉仕して盛大に巡行を果たした大神輿は、祭礼執行に併せて鍔金具、漆塗、木工彫刻の修繕を行い新調されたかと思われるほどの輝きを取り戻しました。

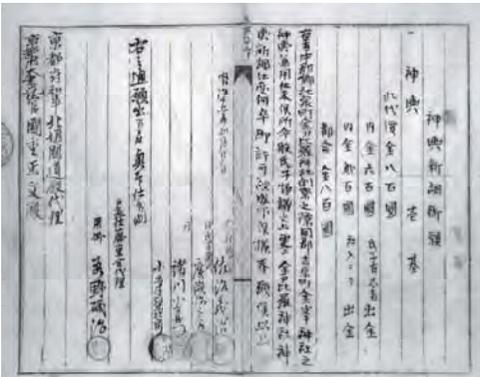
現在記念事業で「二百年記念史」の編纂を進めています、その中で神輿の来歴が明らかになりましたので紹介します。

実は当社の神輿は明治十五年に初めて造られました。創建来七十年もの間神輿はなく、その間の神輿渡御には金峰神社の神

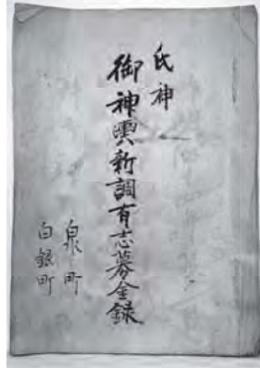


二百年記念例祭 神輿渡御

輿が用いられていたのです。明治十四年十一月に神輿の新調が決議されると翌年三月には町内で有志募金が行われていま



「神輿新調御願」 明治15年5月



町内有志募金録



修復に出される神輿

す。この際京都府知事に届け出された「神輿新調御願」に「中郡郷社泉町金刀比羅神社では例祭の際同郡吉原町金峯神社の神



震災前の境内 右奥が神輿蔵と社務所



昭和2年北丹後大地震で倒壊した神輿蔵

輿を兼用して来ているが今般氏子協議の上金刀比羅神社の神輿を新調し度くご許可願います」とあります。

さらに資料によると文政六年（一八二三）別当寺の増長院から藩へ「権現（金峰神社）の御神輿蔵が傷んできたのでこの冬から来春までの間に修復したい今の場所は当院の坤（南西）を塞いでいて家がよくないので三間ほど北へ引きたい」と願いでいて、蔵王権現（金峰神社）の神輿を増長院で収蔵していたことが解ります。

明治十五年四月に神輿が新調されると五月に臨時祭として神輿渡御を行っており、神輿新調を祝っての祭礼が行われたのかもしれません。また七月には神輿蔵も新築されています。

この時の神輿が現在の神輿で、昭和二年の震災で収蔵庫ごと倒壊していますが修復されて今日まで使われてきました。これは今回の解体修繕を行った際、以前に相当な補修が行われた跡が見つかり判明しました。

新役員総代就任 金刀比羅会新体制に

五月二十三日開催の役員総代会において新責任役員並に新総代が選任され新体制が整いました。

代表総代には井上敏殿、新責任役員に稲葉悦男殿、中山力殿、松本研二殿が、新総代には森一彦殿（株興和代表取締役）がご就任されました。

また六月二十日の金刀比羅会総会において総代会より提案のあった金刀比羅会会長稲葉悦男殿、副会長松本研二殿をはじめ役員人事についても承認されました。

代表総代と金刀比羅会会長職を分担することによって、役員総代、金刀比羅会役員は協力体制が一層強化されることとなりました。

二百年祭執行を機会に勇退をとの意向を受け、三十年の永きにわたり役員総代をお務めいただいた高田一様、二百年祭奉賛会長の吉村孝道様には顧問としてご協力いただき、こととなり、責任役員山本優様、総代森行雄様、相談役藤田兵一郎様・荻野秀忠様、神社委員山下重雄様はご退任されました。永年のご奉仕に深謝申し上げます。

金刀比羅神社役員名簿

敬称略

責任役員	井上 敏	代表総代（新任）
錦織 隆		
「代理・山岡経助」		
稲葉 悦男	総代兼任（新任）	
中山 力	総代兼任（新任）	
松本 研二	総代兼任（新任）	
総代		
西垣 徳彦		
中江 克樹		
山本 喜与志		
松崎 修		
藤原 邦夫		
井上 五郎		
森 一彦	（新任）	
顧問		
吉村孝道	（新任）	平田富義
高田 一	（新任）	寺田厚生
神社委員		
安田清志		吉岡均
		山本英雄
責任役員		
高田 孝一		
吉村 孝道		
山本 優		
森 行雄		
藤田 兵一郎		
荻野 秀忠		
山下 重雄		
神社委員		

金刀比羅会 役員名簿

敬称略

会長	稲葉悦男		
副会長	松本研二		
監事	藤原邦夫		
地区評議員	指名評議員		
元町区	広瀬和男	山下重雄	金安義孝
一区	平井雄一	岡崎一芳	小長谷新二
二区	池田芳昭	北垣達夫	吉岡博泰
三区	荻野正博	安田清志	羽田陽次
四区	中村 静	吉見英次	
五区	松本研二	田中啓一	粟倉正雄
六区	河田秀樹	横井邦夫	
七区	木野瀬順一	吉岡 均	
八区	荒川 裕	由利敏雄	
九区	高橋茂夫	木村成信	山本年信
十区	中川芳隆	赤岩康利	
十一区	高田昭洋	三木邦彦	
十二区	大森孝市	木下讓太郎	岡田定三
十三区	松本鐘三郎	小西哲夫	今田 守
		斎藤康夫	
十四区	沖 一	谷口 毅	小野甚一
十五区	岸村 進		平井喜三郎
十六区	田中徳久	廣野勇夫	野村和生
十七区	中山 一	岸本博一	池辺靖夫
十八区	木本 博	矢谷平夫	由良隆彦
			真岡修治